

ABSENCE OF MALICE

ある朝、
手に取った新聞に
自分の名前が
大見出しで――

そして
そこに書かれていることは
まぎれもない《事実》だが
しかし何ひとつ《真実》を
伝えていなかったとしたら――

F.B.I.と警察は
女性記者を利用して
プライバシーをも暴き
その男の
すべてを破壊した。

今、彼は
その巨大な敵に
反撃を開始した。

事件は
美しい記者を
その愛もろとも
渦中に
巻き込んでいった……



スクープ。

悪意の不在

コロムビア映画提供/ミラージュ・エンタープライズ・プロダクション

ポール・ニューマン/サリー・フィールド/ABSENCE OF MALICE

音楽 デイブ・グルーシン/撮影 オーウェン・ロイズマン/製作総指揮 ロナルド・L・スクワリー

脚本 カート・リュデュック/製作・監督 シドニー・ポラック ©1981 COLUMBIA PICTURES INDUSTRIES, INC.





*もしも、あなたが朝、新聞を取り上げたとき、一面のトップに自分のことがデカデカと書かれていたら…そしてそれが全部「事実」で、「真実」ではないとしたら…
 「行方不明中の、マイアミ港湾労働組合のリーダー、J・ディエス捜索にFBIが乗り出す！」
 その日のマイアミ・スタンダード新聞は、こう第一面にスクープ記事を発表した。
 身に覚えのない港湾倉庫会社のオーナー、M・ギラガー（ポール・ニューマン）は、その時から「スキヤンダル」の渦中に放り込まれた。
 その仕掛人、記事をスッパ抜いたFBI番の女性新聞記者M・カーター（サリー・フィールド）は自分の「仕事」にまだ、何ら疑いを抱かなかった。だが、このスクープは予想だになかった事件に発展。ギラガーは生活も仕事もメチャクチャに破壊され、遂に親友の女性の自殺まで巻き起こしてしまう。そして、ギラガーとカーターは愛し始めた……
 やがて—ギラガーはマスコミを利用し、自分を破滅に追いこもうとしている、巨大な「力」に一人だけで、戦いを挑んだ—。

スクープ。

悪意の不在



コロムビア映画
ABSENCE OF MALICE

©1981 COLUMBIA PICTURES INDUSTRIES, INC.



*ポール・ニューマン+サリー・フィールド、そして豪華スタッフによる異色の競演！
 主人公M・ギラガーに扮するのは、アメリカ映画界きつてのリベラリスト、ポール・ニューマン。
 「ステイキング」「明日に向って撃て！」「アパッチ砦／ブロンクス」等、アクションで名をはせた大スターが、今「動」から「静」の演技へと華麗な変身ぶりを見せる。
 女性新聞記者M・カーターには「ノーマ・レイ」でオスカーを射止めた個性派女優サリー・フィールド。この作品で、ゴールデン・グローブ賞にノミネートされた彼女はアカデミー賞の最有力候補でもある。
 監督には社会派ドラマ、ラブ・ストーリーの名手、「追憶」「コンドル」「出逢い」のシドニー・ポラック。
 新聞界の内幕をスッパ抜いた／と話題を呼んでいる脚本には、ジャーナリズム界出身の注目の新鋭カート・リュデューク。そして、音楽に「チャンプ」でオスカー候補にのぼり、近年渡辺貞夫と競演したフュージョン界の旗手デイブ・グルーシンが担当。
 それぞれ、話題性に事欠かない面々が顔をそろえ、映画を一層興味深いものにしていく。

*ロサンゼルス・タイムズの第二面で、またワシントン・ポストはじめアメリカを代表する新聞が大特集記事で「スクープ」！
 現代マスコミ界禁断のテーマに敢然と挑んだ全世界注目のセンセーショナル・ドラマ「アレクサンダー大統領補佐官収賄事件」「ビュリッツァ賞捏造事件」をはじめ、ジャーナリズムの体質自体を問われるスキヤンダラスな事件が続発している現代社会において、今、最も注目を浴びているテーマ。それは、取材・報道する側のモラルの欠如、される側の記事に対する盲信性だ。
 この映画は、マスコミ界で内密にされているテーマに鋭くメスを入れ、報道のもつ影響力と恐怖を大胆に描破している。これほど、「グッド・タイミング」な映画は他にないだろう。
 「大統領の陰謀」「コンドル」「チャイナ・シンドローム」等、映画界のみならず全世界のマスコミ界を騒然とさせ、これまでに大センセーションを呼び起こした映画は少くない。
 だが、それらを凌ぐ話題を呼び起こし、痛烈な社会批判、愛と憎悪、サスペンス、スリルの妙味をおり交えて描く、第一級品のエンタテインメント社会派ドラマがこの「スクープ」悪意の不在」である。



2月20日(土)ロードショー

丸の内ピカデリー (201) 2881

●特別鑑賞券 ¥1,200 (一般 ¥1,500・学生 ¥1,300の処) 劇場窓口にて発売中！